

ペインティング ジャーナル

PAINTING JOURNAL Vol.11

塗装その先の未来

塗替えの 必要性



塗装で彩る新時代

公益社団法人 神奈川県塗装協会



塗替え判断のポイント

塗替えを判断するポイント

- ★家全体に汚れ、チョーキング、色あせ、つや引けなどがみられ、外観上見苦しい状態が目立ってくる。
 - ★建物の目視観察で、塗面の多くにわれ、ふくれ、はがれ、さびなどが発生し、建物まで傷みがおよんでいる。
 - ★一般的な経過年数。
- などを組み合わせて判断してください。



建物の汚れが気になり出したら要注意

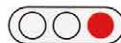
汚れ



チョーキング

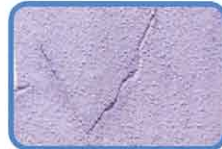


汚れ(かび・藻)やさび、チョーキング(手で触ると白い粉がつく)が目立つ。



塗膜の傷みははっきりと目立ち始めたら早めの塗替えを

われ



はがれ



さび



外壁や屋根、鉄部に、われ、はがれ、ふくれ、さびなどがかなり目立つ。

塗膜の傷みを放置すると、塗膜の異常だけでなく、さらに建物自身まで傷みが進むことが予想され、建物表面の塗膜に不具合が見られたら、早めに塗替えなどの手当てを。



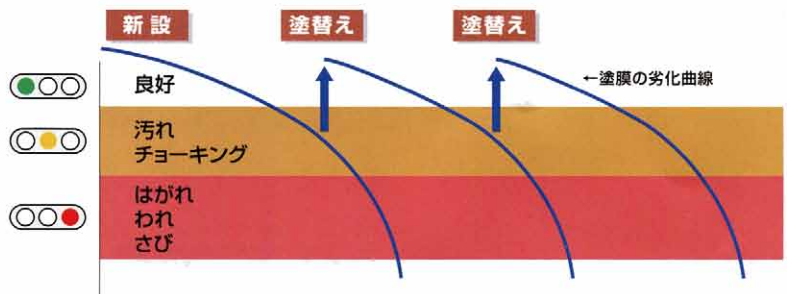
標準的な塗替え時期の目安

塗装箇所	経過年数
建物外壁(リシン)	5
建物外壁(吹付けタイル)	6
建物外壁(弾性吹付けタイル)	8
屋根(カラートタン)	10
屋根(新生瓦)	10
金属部(てすり、鉄扉など)	5
木部(柱、破風、窓枠など)	3

標準的な場所の建物を記載しています。

建物の塗替えのサイクル

完全劣化の前に塗替えを!!



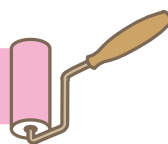


塗替えを決めたら

事前の情報収集が上手な塗替えのヒケツ。



塗替えの一般的な流れ



STEP1 情報収集

ご近所の評判、インターネット、電話で情報を収集。

POINT1

業者まかせではなく、まず自分の希望を整理

塗替えにかかる費用、建物に塗る塗料の色・模様・種類など多くの情報を集め、ご自分の塗替えの希望を整理し、専門業者と相談する。



STEP2 プラン作り

塗替えプランの整理 (予算、塗料の色・模様・種類) と塗装業者を探す。

POINT2

信頼できる塗装業者を

信頼できる塗装業者を選ぶことが、塗替えの成功のカギ。口コミやインターネット、塗装・塗料の業界団体に確認するなど、様々な方法で情報を収集。

STEP3 見積り・契約

3社以上から見積りを取って、比較しましょう。口頭ではなく、必ず契約書の取り交わし。

STEP4 塗装工事

工事前に、ご近所への挨拶を。工事の進み具合を確認。

STEP5 引渡し

塗装業者と一緒に仕上り具合を確認。





塗替え工事の手順は

塗装仕様書は、塗装工事の手順、工程をまとめたもので、塗装工事の流れがわかるものです。

工事に入る前に塗装仕様書に沿って、工事の手順、工程の説明を受けましょう。

用語⑥ 用語⑦ 用語⑧
①建物一般外壁の場合

用語①	● 工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 時間(h)	希釈率(%) 希釈剤	塗装方法
用語②	1 下地調整	高圧水洗により、既存塗膜上の汚れ、ごみなどを除去する。既存塗膜に脆弱部がある場合は、皮すきや電動工具を用いて除去し、下地調整塗材などで修正後、パターンの復元を行う。					
用語③	2 下塗り	○○○○○	1	0.10~0.13	2以上	5~10 水	ローラー スプレー
用語④	3 中塗り	○○○○○	1	0.15~0.17	3以上	5~10 水	ローラー スプレー
用語⑤	4 上塗り	○○○○○	1	0.15~0.17	-	5~10 水	ローラー スプレー



②一般鉄部の場合

工程	商品名	塗回数	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 時間(h)	希釈率(%) 希釈剤	塗装方法
1 下地調整	ふくれ、われなど劣化塗膜は、周辺を含め入念に除去する。さびは電動工具やサンドペーパー、研磨布などを用いて除去する。					
2 下塗り	△△△△△	1	0.13~0.16	2以上	5~10 専用シンナー	ローラー 刷毛
3 中塗り	△△△△△	1	0.12~0.14	16以上	5~10 専用シンナー	ローラー 刷毛
4 上塗り	△△△△△	1	0.12~0.14	-	5~10 専用シンナー	ローラー 刷毛

塗装工事用語

① 工程
塗装の順序を表します。下地調整から始まり下塗り、中塗り、上塗りへと進みます。

② 下地調整
既存塗膜に付着してる汚れ、ごみを取り除いたり、ふくれや損傷などの不具合のある塗膜を除去するなどし、新たに塗装できる下地に整える工程です。鉄部などのさび除去も含まれ、塗装の仕上りや塗膜の耐久性にも影響する大切な工程です。

③ 下塗り
既存塗膜と塗替え塗膜をつなぐ最初の工程で、使用する下塗り塗料は、一部外壁では「シーラー」と呼ばれ、鉄部などでは「さび止め塗料」と呼ばれています。この他に、外壁などでは、既存塗膜の微細なひび割れや凹凸をうめて補修する事ができる「可とう形改修塗材」と呼ばれる塗替え専用材料の使用が増えています。

④ 中塗り
下塗りの上に塗装し、上塗りの美観を高めるための工程です。

⑤ 上塗り
中塗りの上に塗る最後の仕上げ。美観を長持ちさせるなど塗料本来の用途に直接係る工程です。

⑥ 標準塗付量
各塗料の使用量を表したものです。左記塗装仕様の例1建物一般外壁の場合、工程4「上塗り」では、1回の塗装で1m²あたりの使用量が「0.15~0.17kg」ということを表しています。

⑦ 塗装間隔時間
工程から次の工程までの塗装間隔のことです。1建物一般外壁の場合では、工程3「中塗り」から工程4「上塗り」までの塗装間隔時間は、3時間以上となっています。この間隔時間を守らず塗り重ねを行うと塗膜に異常が発生するおそれがあります。

⑧ 希釈率
塗装に適するように、塗料をうすめる割合を設定したものです。塗装器具別に設定されている場合もあります。